

## ①福島県の各種放射線モニタリング結果公表（ホムパージ上）

### 生活空間の環境放射線

- ・空間線量
- ・水浴場等
- ・降下物（チリ等）

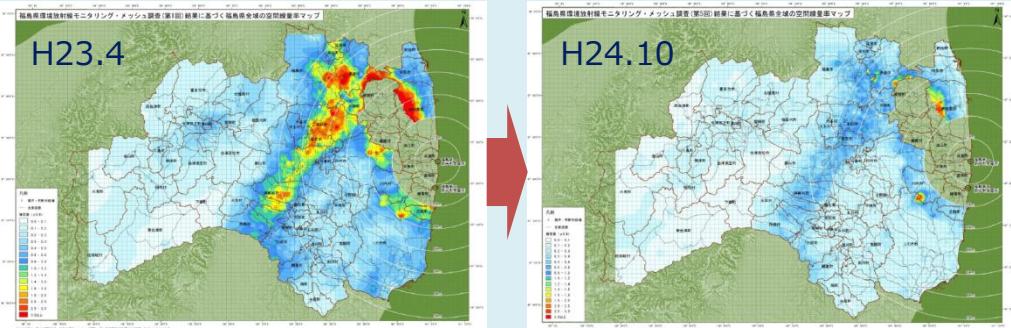
### 土壌・汚泥等の放射性物質

- ・河川やため池、港湾等
- ・下水道
- ・土壌
- ・廃棄物処理施設

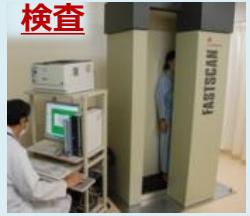
### 飲料水・食品の放射性物質

- ・農林水産物
- ・飲料水
- ・学校給食
- ・加工食品
- ・日常食

## （参考）県メッシュ調査における空間線量の推移



## ②空間線量測定 ③ホムパージカウンター



## ④除染



## ⑤放射能に関する説明会



## ⑥農林水産物の検査体制



### 【ホムパージによる公表】



### 【リスクコミュニケーション】



## ①テレビCMを活用した農産物PR



## ②首都圏等でのPR ③おいしい大賞(6次化)



## ④ふるまい隊による県産品PR



## ⑧「八重の桜」を活用した観光PR



## ⑩H27デスティネーションキャンペーンを視野に入れた観光PR



## ⑤公共交通機関のラッピング



## ⑥大相撲知事賞授与



## ⑦伝統食を活用した6次化



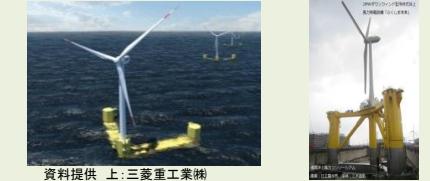
## ①東北六魂祭(6/1,2)



## ②復興の誓い2013(3/11)



## ③浮体式洋上風力発電



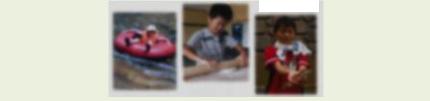
## ④取引拡大に向けた商談会の開催



## ⑤復興に向けた道路の整備



## ⑥ふくしまっ子体験活動

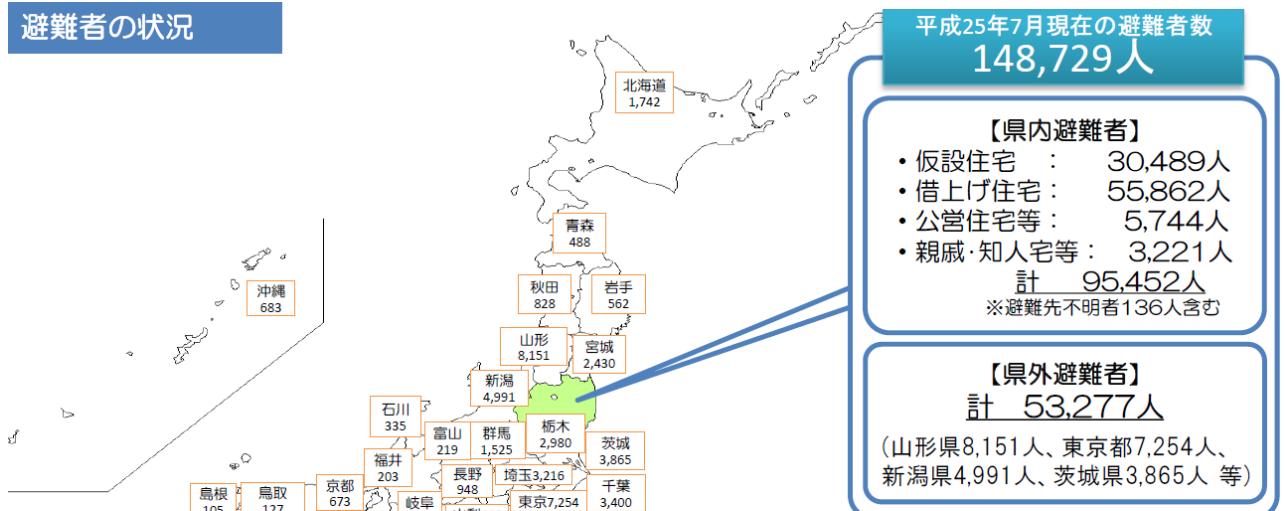
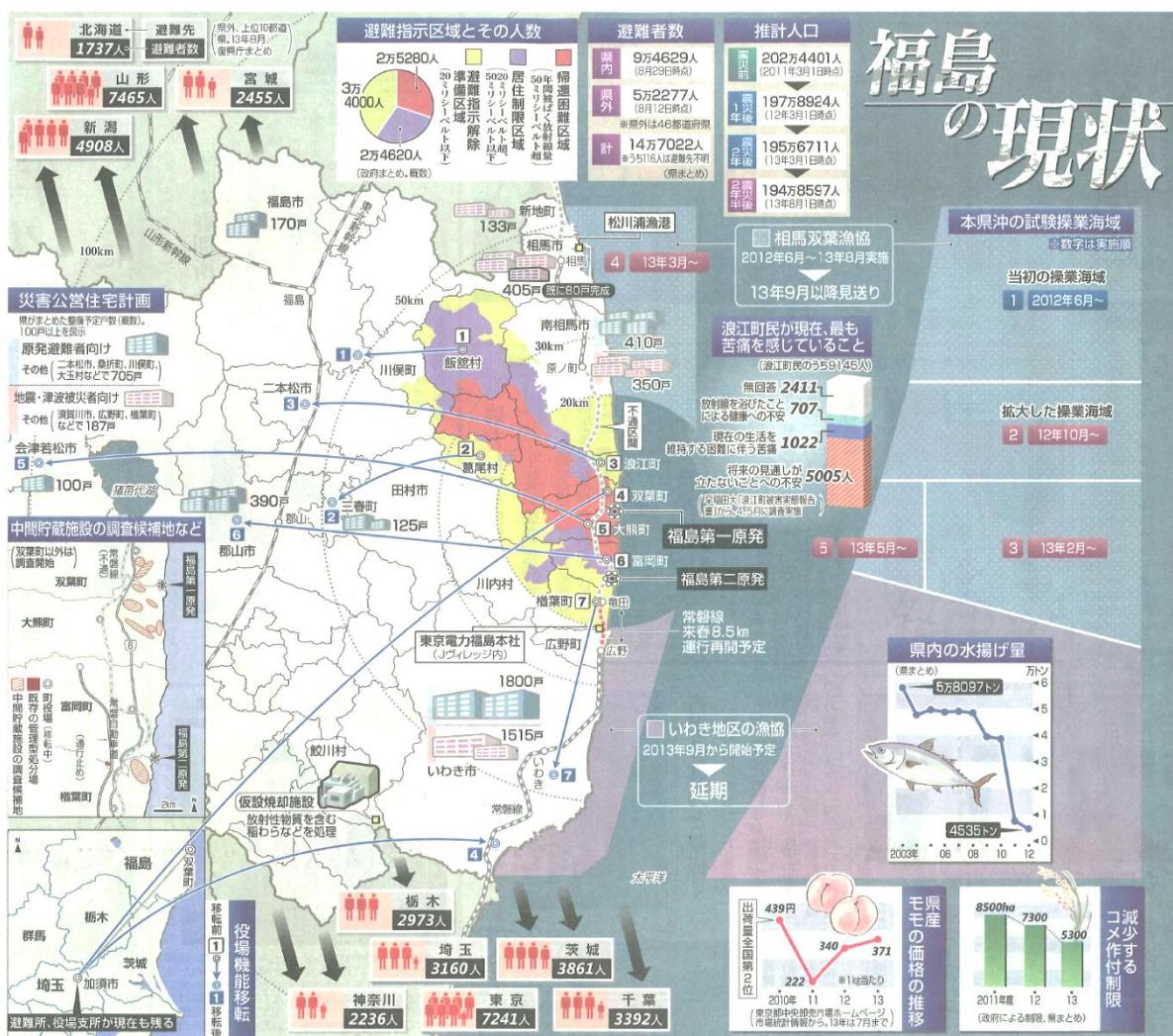


## ⑦元気な子どもたちの姿



## ⑧ふくしまから はじめよう。プロジェクト



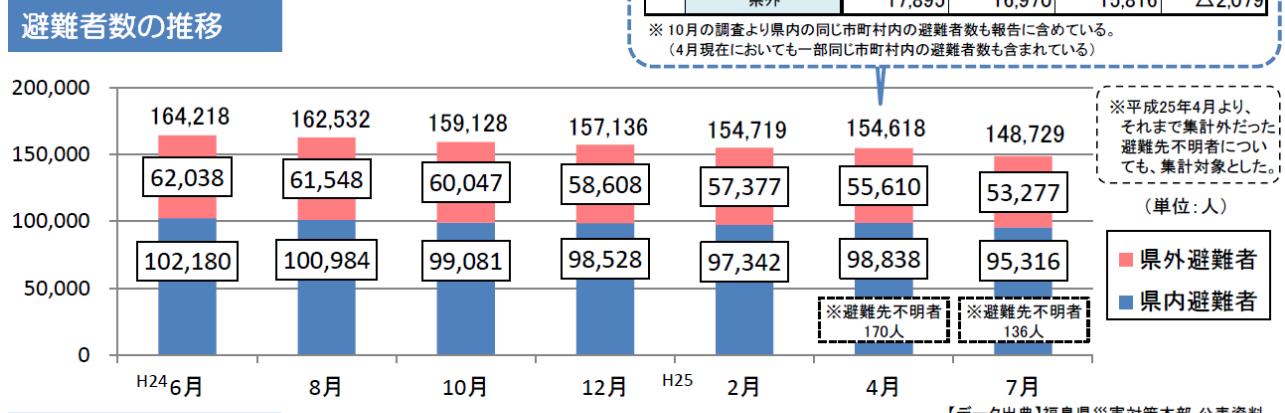


### 【参考】子どもの避難者(18歳未満避難者)の状況

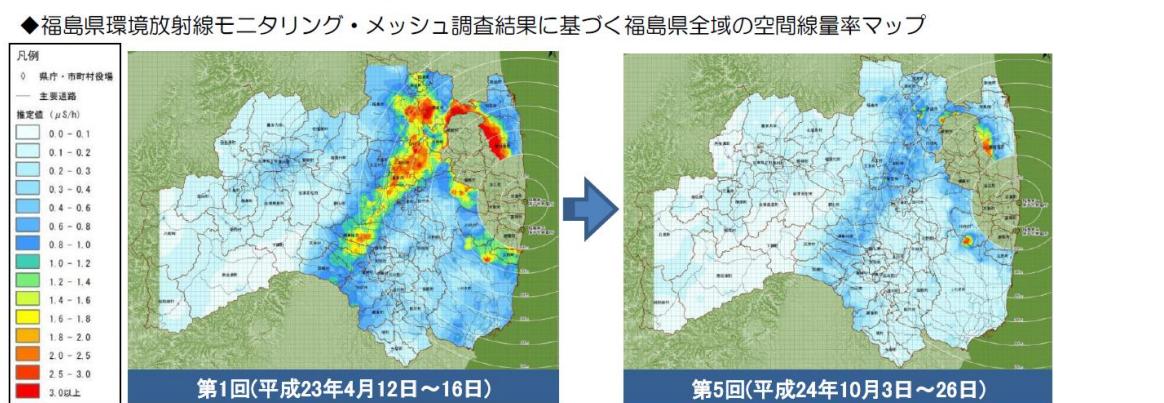
(単位:人)

避難先別	平成24年		平成25年	増減数 (C)-(A)
	4月1日現在 (A)	10月1日現在 (B)	4月1日現在 (C)	
18歳未満避難者数	30,109	30,968	29,148	△961
県内	避難元市町村内	3,307	3,060	1,118
	避難元市町村外	12,214	10,691	
県外	17,895	16,970	15,816	△2,079

※10月の調査より県内の同じ市町村内の避難者数も報告に含めている。  
 (4月現在においても一部同じ市町村内の避難者数も含まれている)



## 福島県内の空間放射線量の推移



### ◆大気中の放射線量測定結果の推移

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

	福島市	会津若松市	いわき市
震災前の平常時	0.04	0.04~0.05	0.05~0.06
平成23年4月	2.74	0.24	0.66
9月	1.04	0.13	0.18
平成24年3月	0.63	0.1	0.17
9月	0.69	0.1	0.1
平成25年3月	0.46	0.07	0.09
7月	0.34	0.07	0.09

【データ出典】福島県災害対策本部(暫定値)

## 福島県の人口推移

(単位:人)

	世帯数	人口	年齢別人口				
			年少人口 0~14歳	生産年齢人口 15~64歳	老年人口		
平成23年3月1日	721,535	2,024,401	274,322	1,235,833	502,160	275,465	12,086
平成24年3月1日	715,952	1,978,924	258,725	1,207,688	500,425	277,064	12,086
平成25年7月1日	720,657	1,948,898	247,691	1,171,077	518,044	283,406	12,086
増減(23年3月1日~25年7月1日)	▲ 878	▲ 75,503	▲ 26,631	▲ 64,756	15,884	7,941	0
増減率	▲ 0.12	▲ 3.73	▲ 9.71	▲ 5.24	3.16	2.88	0.00

## 『風評被害の例』

- ①福島県のものはどうせ売れないから買い叩こう
- ②福島県から来たものには放射性物質が付いているかもしれないから手にしない
- ③福島県に行ったり、ものを食べるとガンになる
- ④福島県は、白い防護服を着ていないと住めない
- ⑤福島県の子供達は外で遊べない

問1) 放射線には正直不安がある。

問2) 福島県のものには、放射線が入っている（付いている）ような気がする。

問3) 「福島県産」と書いた野菜と他県産が並んでいて、値段にも差が無かったら、他県産を買うかもしれない。

問4) 今回、福島に行ってくると言ったら、周りの人で心配してくれた人がいた。

問5) 今日、福島駅について新幹線の扉が開いた時に、ふと不安を感じた。

問6) 福島県人は、こんな災害にあって、元気を失っていると思っていた。

問7) 福島県情報は、最近、原発のトラブルのことしか聞かなくなった。

問8) 福島県の食べ物がおいしいと聞いたことがない。

問9) 福島県の観光地のことを聞いたことがない。

問10) 福島県が東西160km、南北130kmもあることは初めて知った。

# 私が考える『風評』の問題点②

## 1 検査して大丈夫であっても「入っている」との不安

新基準値	ヨウ素 131 (Bq/kg)				セシウム 134・セシウム 137 (Bq/kg)				
	平成24年4月からの新基準値では設定されておりません。								
	飲料水	牛乳	一般食品	乳児用食品	飲料水	牛乳・乳製品	野菜類	穀類	
	10	50	100	50					
暫定基準値	飲料水	牛乳・乳製品	野菜類 (根菜・芋類を除く)	魚介類	飲料水	牛乳・乳製品	野菜類	穀類	肉・卵・魚・その他
	300	300	2000	2000	200	200	500	500	500

暫定規制値と新基準値についてはこちらをご覧ください。  
  は新基準値（平成24年3月以前は暫定規制値）を超過している農産物です。

[1] 前頁 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 次頁 | [71]

品目	生産市町村名 (クリックで地図表示)	検出核種・濃度 (Bq/kg)			サンプル 採取日	結果公表日
		ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137		
ハレシヨ (ジャガイモ)	福島市	---	検出せず(<3.5)	検出せず(<3.0)	2013-08-22	2013-08-27
ズッキーニ	福島市	---	検出せず(<3.1)	検出せず(<2.7)	2013-08-22	2013-08-27
イワナ (養種)	福島市	---	検出せず(<9.1)	検出せず(<8.4)	2013-08-22	2013-08-28
カボチャ	福島市	---	検出せず(<3.4)	検出せず(<3.5)	2013-08-22	2013-08-29
鶏卵	福島市	---	検出せず(<8.0)	検出せず(<6.7)	2013-08-21	2013-08-23
日本ナシ	福島市	---	検出せず(<4.0)	検出せず(<3.2)	2013-08-20	2013-08-22
日本ナシ	福島市	---	検出せず(<3.3)	検出せず(<2.9)	2013-08-20	2013-08-23
原乳	福島市 (乳業工場)	---	検出せず(<2.8)	検出せず(<2.4)	2013-08-19	2013-08-19
ナス	福島市	---	検出せず(<3.3)	検出せず(<4.6)	2013-08-19	2013-08-22
ピーマン	福島市	---	検出せず(<3.6)	検出せず(<3.4)	2013-08-19	2013-08-22
サヤインゲン	福島市	---	検出せず(<4.9)	検出せず(<3.7)	2013-08-19	2013-08-22
鶏肉	福島市	---	検出せず(<7.4)	検出せず(<6.7)	2013-08-19	2013-08-22
ミョウガ	福島市	---	検出せず(<3.9)	検出せず(<4.6)	2013-08-19	2013-08-27
原乳	福島市	---	検出せず(<3.5)	検出せず(<2.7)	2013-08-12	2013-08-12
アユ	福島市 摺上川 (阿武隈川水系)	---	検出せず(<11)	23.3	2013-08-11	2013-08-21
アユ	福島市 荒川 (阿武隈川水系)	---	18.6	34	2013-08-11	2013-08-21
ウナギ	福島市 阿武隈川	---	34.9	78.6	2013-08-11	2013-08-21
モモ	福島市	---	検出せず(<3.2)	検出せず(<3.1)	2013-08-08	2013-08-13



検査情報 平成25年度

**玄米 H25年産** ふくしまの恵み安全対策協議会  
放射性物質検査情報

福島県内で生産した玄米は、全量・全袋検査を実施し、食品衛生法に定める一般食品の基準値(100ベクレル/Kg)以下であることを確認し出荷しています。

検索結果 平成25年度

地域: 福島県全域(市町村別)  
 検査期間: 2013年08月22日~2013年09月14日  
 検査点数: 13,397 点



検索条件 平成25年度

平成24年度の検索はこちら

地域の選択: 福島県全域(地域別) / 福島県全域(市町村別)  
 検査日の選択: 全期間

検索

識別番号指定検索: [ ]-[ ]-[ ]-[ ]

トップページにもどる 検索 リセット

＜スクリーニング検査＞

測定下限値未満(<25)	25~50	51~75	76~100	計
検査点数	13,393	4	0	13,397
割合	99.97%	0.03%	0%	100%

＜詳細検査＞

	25未満	25~50	51~75	76~100	100ベクレル/kg超	計
検査点数	0	0	0	0	0	0
割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%

※ このグラフは、便宜上、スクリーニング検査と詳細検査の結果を合算しております。なお、詳細検査を実施したものは、その結果を反映させています。  
 ※ 検査方法毎の詳細内容は、こちら を御覧ください。  
 ※ 放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計値。  
 ※ 割合は、スクリーニング検査と詳細検査の合計点数に対する割合であり、小数点第2位及び第4位未満を四捨五入しています。

基準値の解説 検査方法

＜スクリーニング検査＞

測定下限値未満(<25)	25~50	51~75	76~100	計
検査点数	10,318,779	20,251	1,383	10,340,413
割合	99.78%	0.2%	0.0007%	99.99%

＜詳細検査＞

	25未満	25~50	51~75	76~100	100ベクレル/kg超	計
検査点数	144	40	295	317	71	867
割合	0.0014%	0.0004%	0.0029%	0.0031%	0.0007%	0.0084%

※ このグラフは、便宜上、スクリーニング検査と詳細検査の結果を合算しております。なお、詳細検査を実施したものは、その結果を反映させています。  
 ※ 検査方法毎の詳細内容は、こちら を御覧ください。  
 ※ 放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計値。  
 ※ 割合は、スクリーニング検査と詳細検査の合計点数に対する割合であり、小数点第2位及び第4位未満を四捨五入しています。

基準値の解説 検査方法

検査情報

**もも** ふくしまの恵み安全対策協議会  
放射性物質検査情報

福島県内で生産したももは、出荷前から定期的に放射性物質の自主検査を実施し、基準値以下であることを確認しています。

検索結果

生産地: 福島県全域(市町村別)  
 期間(検査日): 2013年05月25日~2013年09月09日  
 検査点数: 8,647 点

検査条件

地域の選択: 福島県全域(市町村別)  
 検査日の選択: ※ 最近6ヶ月以内

※ 過去のデータは、検査日の選択で[期間を指定]を選択すると表示できます。

トップページにもどる 検索

品目選択に戻る

■ 検査点数

	25未満	25~50	51~75	76~100
検査点数	8,647	0	0	0
割合	100%	0%	0%	0%

放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計値。  
 割合については、小数点以下第4位未満を四捨五入しています。

※ NaIシンチレーションスペクトロメータ等の分析装置により、自主分析を実施した結果を掲載しています。  
 ※ 検査の結果、放射性セシウムが50ベクレル/kgを上回った場合は、福島県がゲルマニウム半導体検出器による検査を実施し、その測定値を掲載しています。

基準値の解説 検査方法

精米ラベル

■ 精米袋用ラベルの貼付について

「ふくしまの恵み安全対策協議会」では、消費者の皆さんが安心して福島県産米を購入できるように、全ての米をベルトコンベア式検査機器で放射性物質検査を行っています。また、検査済の県産米を使用したこと等が分かる「ラベル」(精米袋用ラベル)を、福島県産米100%使用の精米袋や小分けした玄米袋に貼付する取組を進めています。

平成24年度用

平成25年度用: 「新米」表示なし(左)

平成25年度用: 「新米」表示あり(右)



# 私が考える『風評』の問題点③

## 2 放射線量が十分に低くても、何となく「ある」との不安

- 公民館等 Community Center
  - 水浴場 Bathing Area
  - メッシュ調査 Mesh Survey
  - 集会所 Assembly Facility
  - 観光地 Sightseeing Spot
- 放射線量等分布マップ(文部科学省) Distribution map of radiation dose (MEXT)



福島県環境放射線モニタリング調査(観光地第5回)結果(観光施設・道の駅・山地・自然) (平成25年4月8日調査分速報)

平成25年4月26日  
原子力災害現地対策本部(放射線班)  
福島県災害対策本部(原子力班)

No.	市町村	区分	観光地の名称	測定地点(ポイント)の名称等	調査月日	測定高さ 50cm or 1m	空間線量率測定値(μSv/h)										備考	
							駐車場					建物入口(屋外)・登山口等の入口	前回調査結果(全体平均値)	今回調査結果	前回調査結果			
							①中央	②	③	④	⑤					全体平均値		
7	会津美里町	観光施設	葉の美里いわて	駐車場	4月8日	50cm	0.09	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10				
				葉の美里いわて		1m	0.10	0.09	0.10	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10				
						50cm												
						1m												

福島県環境放射線モニタリング調査(観光地第5回)結果(観光施設・道の駅・山地・自然) (平成25年4月25日調査分速報)

平成25年5月20日  
原子力災害現地対策本部(放射線班)  
福島県災害対策本部(原子力班)

No.	市町村	区分	観光地の名称	測定地点(ポイント)の名称等	調査月日	測定高さ 50cm or 1m	空間線量率測定値(μSv/h)										備考	
							駐車場					建物入口(屋外)・登山口等の入口	前回調査結果(全体平均値)	今回調査結果	前回調査結果			
							①中央	②	③	④	⑤					全体平均値		
5	会津若松市	観光施設	鶴ヶ城	西出丸駐車場	4月25日	50cm	0.09	0.11	0.12	0.11	0.13	0.11	0.13					
				1m		0.09	0.10	0.12	0.12	0.12	0.11	0.13						
				50cm		0.10	0.12	0.13	0.12	0.14	0.12	0.14						
				1m		0.11	0.12	0.13	0.12	0.13	0.12	0.14						
				50cm		0.10	0.10	0.09	0.10	0.09	0.10	0.12						
				1m		0.09	0.09	0.09	0.11	0.09	0.09	0.11						
				50cm									0.10	0.12				
				1m									0.11	0.13				
				50cm									0.12	0.14				
				1m									0.12	0.13				
				50cm									0.11	0.14				
				1m									0.11	0.13				
				50cm									0.11	0.12				
				1m									0.11	0.12				
50cm								0.08	0.10									
1m								0.08	0.10									
50cm								0.13	0.16									
1m								0.13	0.14									
50cm								0.09	0.12									
1m								0.09	0.12									



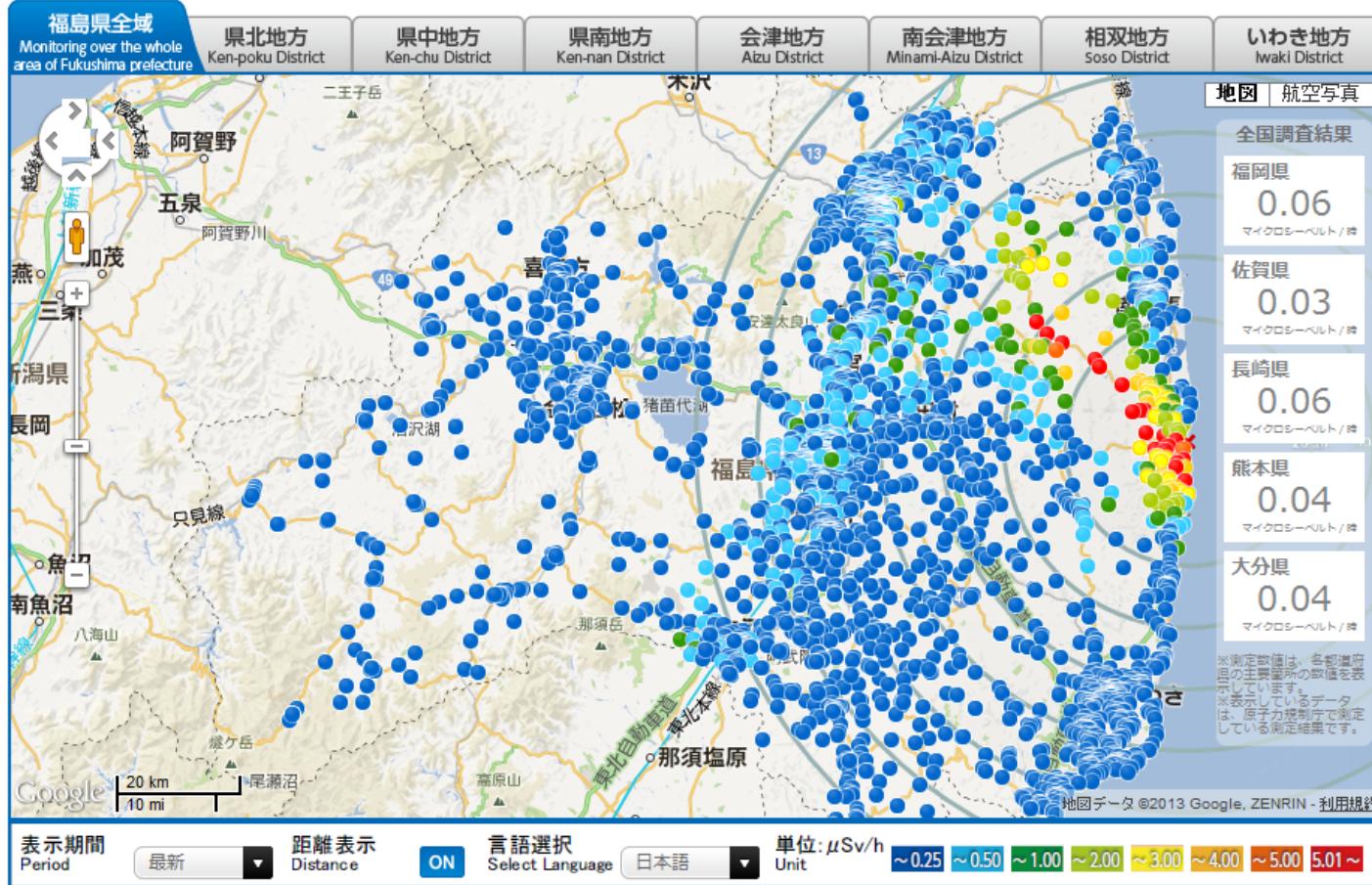
# 私が考える『風評』の問題点④

## 福島県放射能測定マップ

Fukushima prefecture radioactivity measurement map

[空間線量率測定結果](#) Results of measurement of air dose rates  
[放射性物質測定結果](#) Results of measurement of radioactive material  
[走行サーベイ測定結果](#) Results of measurement of air dose rates using monitoring cars  
[地図から検索](#) Search from a Map

[空間線量率測定結果の検索](#) Search for results of measurement of air dose rates  
[各地の定時測定](#) Measurement of fixed time observation points  
[学校・児童福祉施設等](#) Schools and Child Welfare Facilities  
[その他の調査](#) Others



※年間1mSvがなぜ0.23  $\mu\text{Sv/h}$ なのか???

$$1\text{mSv} = 1000 \mu\text{Sv} \div 365 \div 24 = 0.11 \mu\text{Sv} \text{では?}$$

実は、モニタリングポストは屋外に設置されている。放射線は、壁などに遮られるので、屋内は数分の一の値になる。屋外に8時間、木造屋内に16時間いると想定。さらに、木造屋内は遮蔽され、屋外の4/10になると仮定。さらにさらに、自然界から0.04  $\mu\text{Sv/h}$ の線量を常時受けると仮定。

$$1\text{mSv} = 1000 \mu\text{Sv} \div 365 \div (8 + 16 \times 0.4) + 0.04 \mu\text{Sv} = \underline{0.23 \mu\text{Sv/h}}$$

※事実として、放射線量が高い地域も存在する

佐藤の生まれ故郷は?  $(1.639 - 0.04) \times (8 + 16 \times 0.4) \times 365 = 8.4\text{mSv/年}$



# ずっと昔から、自然の放射線の中で生活してきた。

放射線には、色もおいもないけれど、  
ぼくたちのまわりに、いつもあるものなんだ。

**自然放射線 (日本平均) 2.09ミリシーベルト(mSv)/年**



宇宙放射線により  
**0.3**ミリシーベルト(mSv)/年



地球誕生時からある  
大地の放射性物質から  
**0.33**ミリシーベルト(mSv)/年



ラドン(大地から微量に放出されるガス)  
などの吸入により  
**0.48**ミリシーベルト(mSv)/年



食べ物に含まれる  
放射性物質(カリウム40など)により  
**0.98**ミリシーベルト(mSv)/年

出典: (公財)原子力安全研究協会「新版 生活環境放射線(国民線量の算定)」(2011年)より作成

(平成25年7月作成)

# 自然放射線

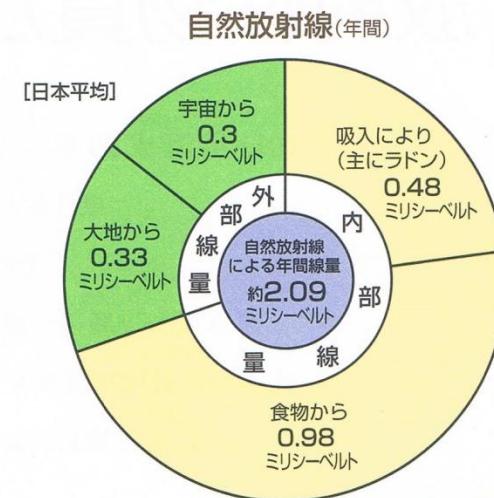
## 自然放射線

放射線を出す放射性物質は、地球誕生時から環境の中に存在し、私たちは、日本平均で年間約2.09mSvの自然放射線を受けています。

## 地域差

自然放射線量には地域差があり、世界では、年間10mSv程度の自然放射線を受けている地域もあります。

日本でも、大地からの自然放射線量は、花こう岩の多い関西地方の方が、関東地方より、2~3割ほど高くなっています。



出典: (公財)原子力安全研究協会「新版 生活環境放射線(国民線量の算定)」(2011年)より作成

## 放射性物質を含むカリウム(元素記号: K)

生物にとって不可欠な元素であるカリウムには、0.012%の割合で放射能(放射線を出す能力)を持つ、カリウム40(放射性カリウム)が含まれています。

カリウムは、身近な元素であり、食べ物にも含まれています。このため、食べ物には、放射性物質であるカリウム40も含まれています。

食物(1kg)中のカリウム40の放射性物質の量 [日本] (単位: ベクレル/kg)



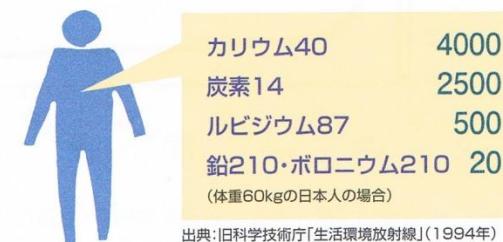
出典: 旧科学技術庁「生活環境放射線」(1994年) (財)原子力安全研究協会「生活環境放射線(国民線量の算定)」(1992年)より作成

## 身体の中の放射性物質

食事をとおして、自然に存在する放射性物質を取り込んでいる私たちの身体の中には、体重60kgの人でおよそ4000Bq(ベクレル)のカリウム40が、存在しています。

また、自然の放射性物質には、このほかにも、考古学の年代測定にも用いられる炭素14などもあり、私たちの身体の中に存在しています。

体内の放射性物質の量 (単位: ベクレル)



出典: 旧科学技術庁「生活環境放射線」(1994年) (財)原子力安全研究協会「生活環境放射線(国民線量の算定)」(1992年)より作成

# 原発事故により 放射性物質が放出された。

2011年(平成23年) 3月11日(金)14時46分

東日本大震災発生

その後、

東京電力福島第一原子力発電所での事故、

大量の放射性物質が大気や海の中に放出された。

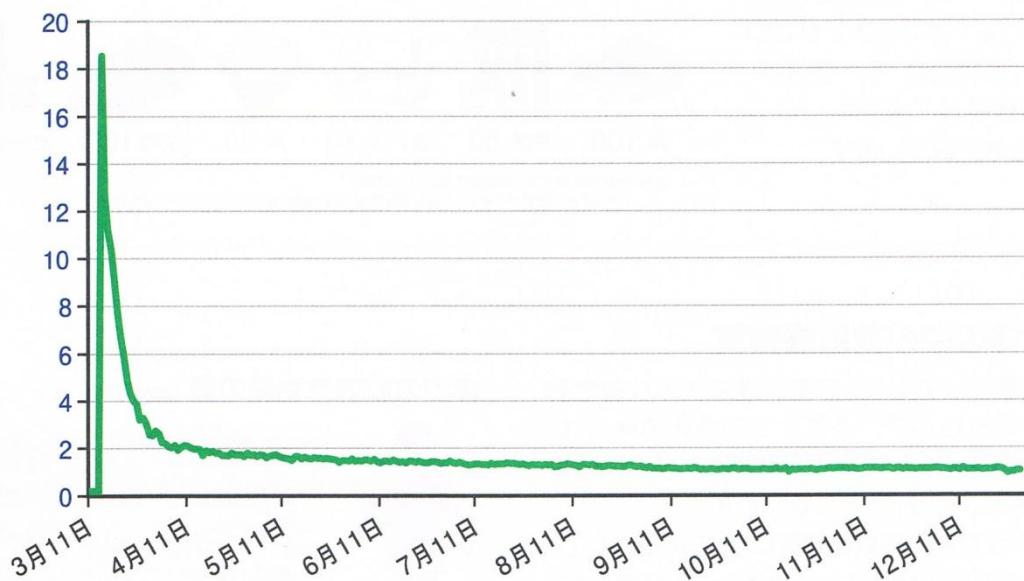
そして、この放射性物質による被ばくも受けることになった。



## 空間線量率の推移

福島市(県北保健福祉事務所)

マイクロシーベルト/時間(μSv/h)



※測定場所：県北保健福祉事務所(福島市)東側駐車場

※測定地点の各日 12:00 の値をプロット。3月11日、12日は測定値なし。13日に0.04μSv/hを検出

出典:福島県モニタリングデータ(県内7方面 環境放射能測定結果)

(平成25年7月作成)

## 県内7方面 環境放射能測定結果(暫定値) (単位: μGy/h≒μSv/h)

月日	午前・午後 (最高値)	県北 福島市	県中 郡山市	県南 白河市	会津 会津若松市	南会津 南会津町	相双 南相馬市	いわき いわき市平
平常値	0.04	0.04~0.06	0.04~0.05	0.04~0.05	0.04~0.05	0.02~0.04	0.05	0.05~0.06
福島第一原発からの 方向及び距離		北西 約63km	西 約58km	西南西 約81km	西 約98km	西南西 約115km	北 約24km	南南西 約43km
3月11日	午後	—	—	0.06	—	—	—	—
3月12日	午前	—	—	0.06	—	—	—	—
	午後	—	—	0.06	—	—	20.00	—
3月13日	午前	0.05	—	0.06	0.06	0.06	4.11	0.09
	午後	0.08	0.06	0.09	0.07	0.06	4.21	0.08
3月14日	午前	0.05	0.06	0.08	0.08	0.06	3.43	0.09
	午後	0.10	0.06	0.07	0.08	0.05	3.39	0.10
3月15日	午前	0.09	0.06	0.07	0.07	0.06	2.76	23.72
	午後	24.24	8.26	7.70	2.57	1.08	5.15	1.72
3月16日	午前	21.40	3.11	4.30	2.22	0.26	4.04	18.78
	午後	19.10	3.18	4.00	0.61	0.11	3.99	3.81
3月17日	午前	14.80	2.88	3.70	0.57	0.10	3.48	1.54
	午後	13.40	3.75	3.10	0.54	0.10	3.40	1.21
3月18日	午前	12.70	2.83	3.00	0.52	0.10	2.87	1.19
	午後	11.20	2.54	2.90	0.45	0.10	7.29	1.10
3月19日	午前	11.10	2.40	2.70	0.46	0.10	5.48	1.11
	午後	10.30	2.68	2.40	0.39	0.10	3.76	0.91
3月20日	午前	10.10	2.57	2.20	0.39	0.09	2.61	0.89
	午後	8.97	2.55	2.00	0.38	0.10	6.78	0.86
3月21日	午前	8.06	2.54	1.80	0.36	0.10	2.93	6.00
	午後	7.52	2.01	1.60	0.34	0.10	2.45	5.04
3月22日	午前	7.19	1.94	1.60	0.55	0.10	1.92	2.52
	午後	6.85	1.80	1.50	0.54	0.10	1.81	2.16
3月23日	午前	6.09	1.66	1.50	0.47	0.09	1.58	1.86
	午後	5.79	1.65	1.40	0.46	0.10	1.60	1.81
3月24日	午前	5.36	1.54	1.30	0.46	0.09	2.57	1.69
	午後	5.02	4.05	1.20	0.42	0.09	2.18	1.52
3月25日	午前	4.92	3.99	1.20	0.39	0.10	1.40	1.52
	午後	4.24	3.67	1.10	0.38	0.09	1.68	1.32
参考:9月11日(12:00)		1.02	0.84	0.41	0.13	0.07	0.40	0.18
参考:24年1月11日(12:00)		0.80	0.71	0.36	0.11	0.06	0.40	0.17

### 測定場所

- 県北  
県北保健福祉事務所駐車場
- 県中  
麓山公園(〜3/13)、郡山  
合同庁舎3階屋外(3/14  
〜24午前)、東側入口付  
近(3/24午後〜)
- 県南  
白河合同庁舎駐車場
- 会津  
会津若松合同庁舎駐車場  
(3/16〜21新館2階屋外)
- 南会津  
南会津合同庁舎屋上(4階  
建て)、3月16日9:00か  
ら南会津合同庁舎2階、  
3月21日9:00から南会  
津合同庁舎駐車場
- 相双  
南相馬合同庁舎駐車場
- いわき  
いわき合同庁舎駐車場

※記載の測定値は、午前及び午後の測定値の内の最高値を記載

## 東京電力福島第一原子力発電所に係る主な出来事(避難指示関係を含む)

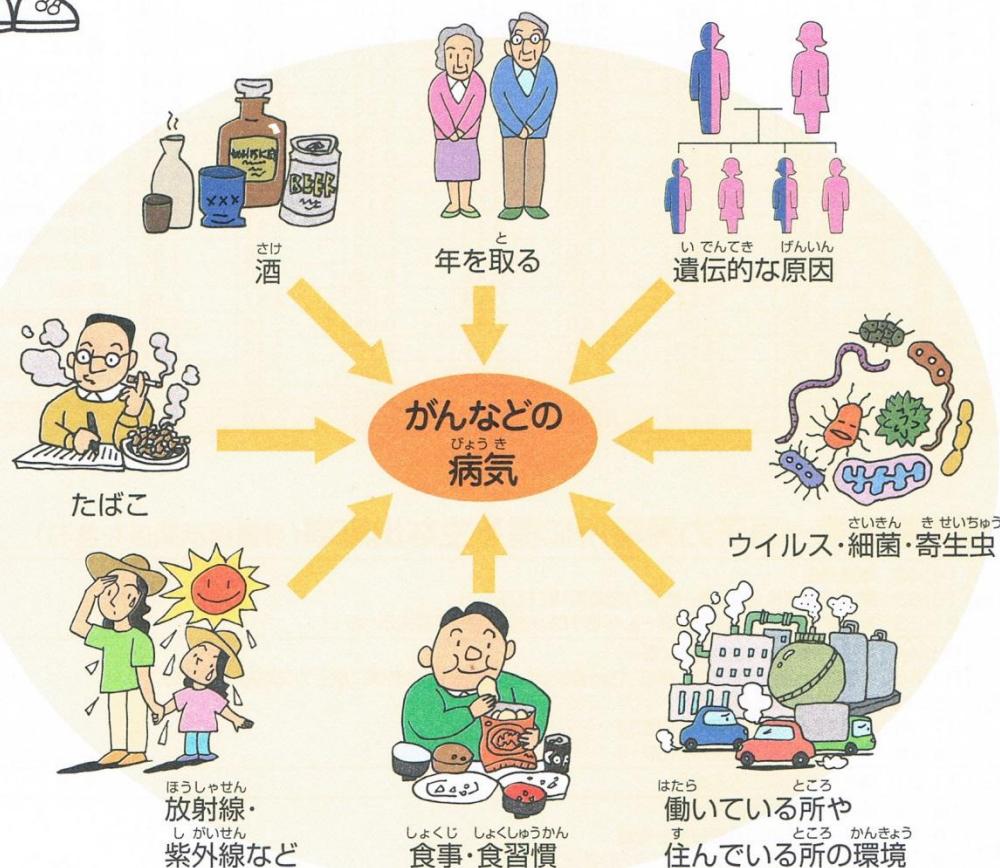
3月11日	14:46 地震発生 19:03 緊急事態宣言(福島第一原子力発電所:以下「第一」) 21:23 半径3km圏内避難指示(第一)、半径10km圏内屋内退避指示(第一)
3月12日	05:44 半径10km圏内避難指示(第一) 07:45 半径3km圏内避難指示、半径10km圏内屋内退避指示(福島第二原子力発電所:以下「第二」) 15:36 第一 1号機で水素爆発 17:36 半径10km圏内避難指示(第二) 18:25 半径20km圏内避難指示(第一)
3月14日	11:01 第一 3号機で水素爆発
3月15日	06:10 第一 2号機で爆発音 06:14 第一 4号機の外壁破損を確認 09:38 第一 4号機で火災発生(11:00鎮火) 11:00 半径20〜30km圏内屋内退避指示(第一)
3月16日	08:30 第一 3号機で白煙が発生
3月25日	半径20〜30km圏内自主避難要請(第一)
4月22日	警戒区域(福島第一原子力発電所から半径20km圏内)設定 計画的避難区域(飯館村全域、川俣町山木屋地区、葛尾村及び浪江町の20km圏内を除く全域、南相馬市の一部)設定 緊急時避難準備区域(広野町全域、楳葉町と川内村の20km圏内を除く全域、田村市の一部、南相馬市の一部)設定 ※緊急時避難準備区域は9月30日解除
6月30日	特定避難勧奨地点設定(伊達市104地点)
7月21日	特定避難勧奨地点設定(南相馬市57地点)
8月3日	特定避難勧奨地点設定(南相馬市65地点、川内村1地点)
9月30日	緊急時避難準備区域解除
11月25日	特定避難勧奨地点設定(伊達市13地点、南相馬市20地点)

# 放射線も、がんなどの 病気の原因になるの？



がんなどの病気には、放射線だけでなく、  
いろいろな原因があるんだ。

がんなどの病気を起こす色々な原因



出典：(社)日本アイントープ協会「改訂版 放射線のABC」(2011年)などより作成

100 ミリシーベルト(mSv)以下の放射線被ばくで  
がんが増えるかどうかは明らかになってはいません。  
いろいろな病気の原因をできるだけ小さくしていくことが大切だよ。

## 放射線の健康への影響①

### 低線量被ばくの健康影響

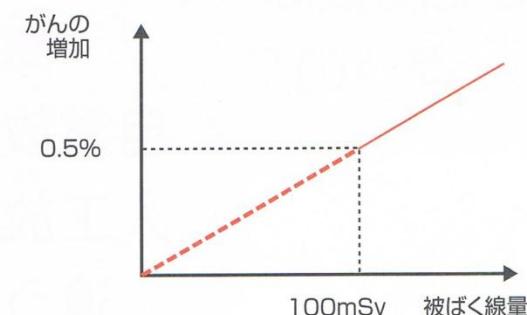
広島・長崎の原爆被爆者の疫学調査などの結果をもとに、長期間にわたり100mSvを被ばくとすると、生涯のがん死亡リスクが約0.5%増加すると試算されています。

現在の日本では、10万人のうち約3万人が、がんで亡くなっており、長期間にわたり、100mSvの被ばくがあった場合、さらに500人が、放射線の影響によりがんで死亡すると試算されます。

ただし、これより低い線量では、他の発がん要因の影響が大きくなるため、線量に応じて死亡数の計算をするのは適当でないといわれています。

### 直線しきい値なしモデル

100mSv以下の被ばくの発がんにおよぼす影響、特に、長期間にわたる低線量被ばくによる発がんリスクへの影響が明らかでないことから、放射線防護や放射線管理にあたっては、低線量であっても健康影響はあり、線量に比例して発がんリスクが増加するとのモデルに基づいて対策を検討してきました。



### リスクの比較

放射線による発がんへの影響については様々な要因が指摘されています。放射線もその一つの要因となりますが、放射線の人体への影響は、広島・長崎などのデータが基本となっており、これら高線量の放射線を瞬時に被ばくした場合から、低線量の長期間にわたる被ばくの影響を推しはかるには、さらに不確かさがつきまといます。

次の表は、様々ながんのリスクを比較したものです。

要因	がんになるリスク
1000~2000ミリシーベルトの放射線を受けた場合	1.8倍
喫煙・飲酒(毎日3合以上[日本酒換算])	1.6倍
痩せ過ぎ	1.29倍
肥満	1.22倍
200~500ミリシーベルトの放射線を受けた場合	1.19倍
運動不足	1.15~1.19倍
塩分の摂り過ぎ	1.11~1.15倍
100~200ミリシーベルトの放射線を受けた場合	1.08倍
野菜不足	1.06倍

●放射線は、広島・長崎の原爆による瞬間的な被ばくを分析したデータ(固形がんのみ)であり、長期にわたる被ばくの影響を観察したものではない。

●その他は、国立がん研究センターの分析したデータである。

※対象:40~69歳の日本人 運動不足・身体活動の量が非常に少ない 野菜不足・野菜摂取量が非常に少ない  
出典:「がんのリスクの大きさ(何倍程度大きいか)」(独)国立がん研究センターホームページより

※相対リスク(リスクがないグループと比べて、何倍がんになるリスクが増加するか)で示している。

### 小児・胎児への影響、遺伝的影響

高線量被ばくでは、小児は成人より強く影響を受けるとされていますが、低線量被ばくでは明らかではありません。

また、胎児の被ばくの影響は、小児と同じかそれより小さいと考えられています。

放射線の遺伝的影響は、原爆被爆者の子ども

数万人を対象とした長期間追跡調査でもまったく認められていません。

しかしながら、低線量被ばくについてすべてが明らかでない状況の中では、子どもや妊婦に重点を置いて優先的に対策を進めることが重要だと考えています。

# 被ばくのしかたで 影響が違ふの？

## 問1

長期間被ばくと  
短期間被ばくで  
違ふの？

## 問3

外部被ばくと  
内部被ばくで  
違ふの？

## 問2

自然放射線と  
人工放射線で  
違ふの？

## 答1

放射線被ばくの  
合計の量が同じなら、  
長期間で受けたほうが、  
影響は小さい。

## 答2

放射線被ばくの  
合計の量が同じなら、  
自然放射線も人工放射線も  
影響は同じ。

## 答3

放射線被ばくの  
合計の量が同じなら、  
外部被ばくも内部被ばくも  
影響は同じ。



※合計の量:シーベルト(Sv)で表される実効線量

シーベルトという単位は人体影響の尺度で実測値ではありませんが、線源や線質、自然由来や人工由来、外部被ばくや内部被ばくに関わらず、同じシーベルト数であれば、その影響は同じです。

(平成25年7月作成)

# 放射線の健康への影響②

## 長期間被ばくと短期間被ばく

合計100mSvの放射線にさらされた場合でも、これを短期間で受けた場合と長期間かけて受けた場合では、短期間に集中的に受けたほうが影響が大きいと推定されています。

低線量長期間被ばくの場合は、一度に受ける放射線量が少なく、仮に細胞(DNA)が傷ついても、ヒトの身体の修復能力が十分に発揮されるからだと考えられます。

## 自然放射線と人工放射線

自然界から受ける放射線も人工的にもたらされた放射線も、その本質に違いはありません。放射線が人体に及ぼす影響を表す指標としての実効線量(単位:Sv シーベルト)が同じであるなら、自然放射線も人工放射線も健康に与える影響に違いはありません。

## 外部被ばくと内部被ばく

環境(空間など)にある放射線を体外から受ける場合を外部被ばくといい、吸い込むことや食べてしまうことより放射性物質を体内へ取り込むことを内部被ばくといいます。

内部被ばくについては、その後の50年間(小児は70歳まで)で身体がどのくらいの影響を受けるかという指標である預託実効線量で表されています。年間の被ばく線量として外部被ばく線量と内部被ばく線量の実効線量をたし算することにより、外部被ばくと内部被ばく合計の影響を推測することができます。

線量(実効線量)が同じであれば、内部被ばくも外部被ばくも健康への影響は同じとされています。

## 外部被ばく線量を少なくするために

### 外部放射線防護の原則

- ・放射線物質から遠ざかる(距離)
  - ・放射線を受ける時間を短くする(時間)
  - ・建物の中に入る(遮へい)
- の3つの方法があります。



## 内部被ばく線量を少なくするために

現在、放射性セシウムを含む食材による内部被ばくが問題となっています。そのために食物等の放射能レベルの検査、それによる規制などの対策が進められています。

一つの参考としては、今回の事故後、流通している汚染された食品を選択的に継続して食べたとしても、多くても、年間0.244mSv程度といった推計が出されています。

(平成23年10月31日薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会資料4)

## 食品基準値

放射性セシウムについて、年間1mSvを食品からの摂取で許容できる線量とし、平成24年4月から右の基準を適用することとなっています。

食品区分	放射性セシウムの基準値 (Bq/kg)
飲料水	10
乳児用食品	50
牛乳	50
一般食品	100

(平成25年7月作成)

# 健康に暮らしていくためには、 何が大事なの？

# 今こそ必要な 生活習慣の見直し

びょうき ふうせ せい かつ しゅうかん  
**病気を防ぐ生活習慣など**

笑う 適正体重 タバコを吸わない お酒はほどほどに バランスの良い食事 睡眠 運動

趣味 健診

ほうしゃせん 放射線

じょうせん 除染

ほうしゃせん ひ 放射線被ばくを少なくするほか、病気を招くような生活習慣があれば、それを見直すことも、健康を保つためには大事だよ。

## 現在の放射線のリスク

合計 100mSv 以下の放射線の発がんへの影響は明らかにはされていません。100mSv 以下については、喫煙や野菜不足などの他の要因による発がんのリスクの増加に隠れてしまうほど小さいため、放射線によるがんの増加を証明することは難しいとされています。

これまでに得られた個人線量計等による外部被ばく線量の測定結果やホールボディカウンターによる内部被ばく検査結果等からは、生活上の他の様々なリスクと比較して、現在までの被ばくの状況では、ほとんどの県民の発がんリスクの増加は考えにくいとされています。

## 様々なリスクを踏まえた対応

一人ひとりの生活においては、運動不足、睡眠不足や栄養の偏り、成人においては喫煙など、様々な健康リスクがあります。残念ながら、放射線量が事故以前の水準に戻るまでには時間が必要となります。

このような中で、放射線のリスクを他の健康リスクの低減により補うためには、どうすることが良いのか、さらには、精神的なストレスをどのようにコントロールしていくのかなど、総合的な考え方が求められています。

特に、放射線を恐れるあまり、「外出をしない」「食事内容が偏る」「がん検診を受けない」「必要な医療検査を受けない」などの、より大きなリスクを抱えることがないように、「放射線を正しく知り、正しく怖がる」ことが大切です。

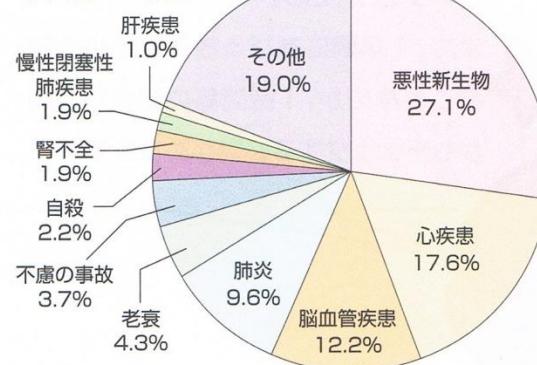
## 主な死亡原因

平成 22 年福島県の死因順位は、第 1 位は悪性新生物(がん)で27.1%(死亡数6,173人、死亡率305.7(人口10万対))、第2位は心疾患17.6%(3,994人、197.8)、第3位は脳血管疾患12.2%(2,766人、137.0)となっています。

## 健診・がん検診

低線量長期間被ばくによってがんが増加するかどうかは、はっきりとはわかっていません。しかし、がんにならない生活習慣を身につけてがんにならないようにすること、そしてがん検診を定期的に受け、がんの早期発見・早期治療につなげることによって、がんという病気がもたらす災いを小さくしていくことが重要となります。

主な死因別死亡数の割合 (平成22年)



出典:平成22年人口動態統計(確定数)の概況(福島県)

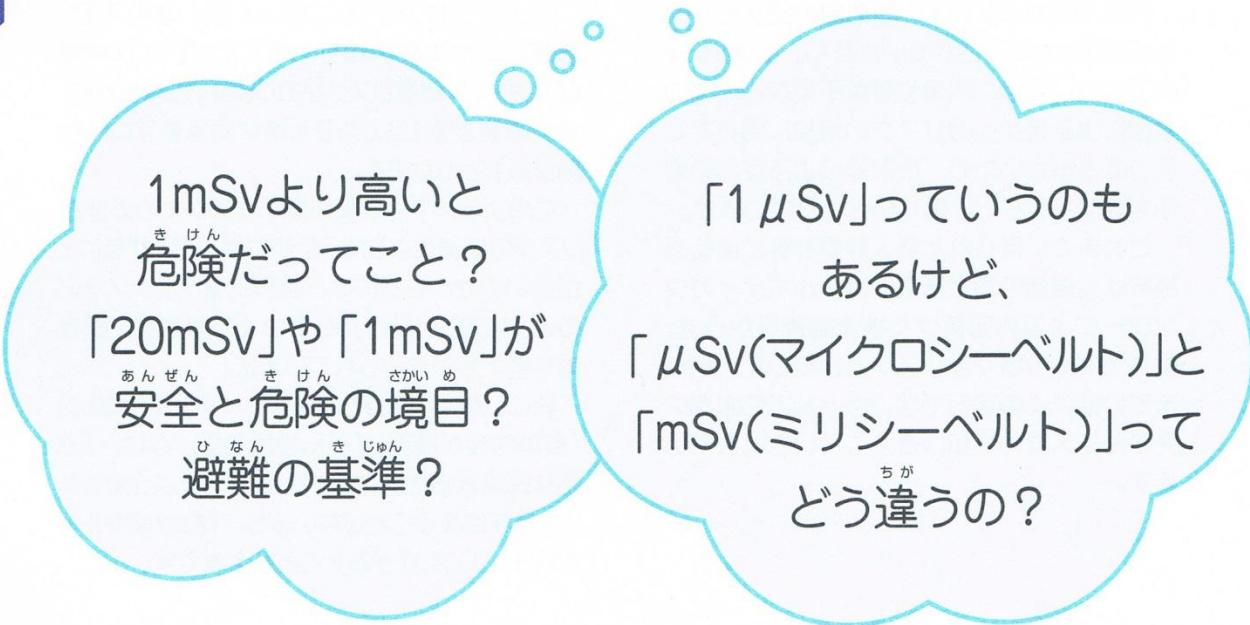
## 甲状腺検査

県民健康管理調査では、震災時概ね18歳以下の県民を対象として、甲状腺の超音波検査を行い、小児甲状腺がんの早期発見・早期治療につなげていくこととしています。

対象者の方が20歳になるまでは2年に1回、それ以降は、5年に1回の甲状腺検査を続けていくこととしています。

# 「1ミリシーベルト(mSv)」とか「20ミリシーベルト(mSv)」ってよく聞くけど、何の数値？

## 用語・参考資料①



答え

「20mSv」や「1mSv」は、「安全」と「危険」の境目を意味するものではありません。国際放射線防護委員会(ICRP)によると、緊急時被ばく状況(緊急事態期)においては、年間20~100mSvの範囲の中から、現存被ばく状況(事故収束後の復旧期)においては、年間1~20mSvの範囲の中から、防護対策の計画・実施の目安である「参考レベル」を設定して、状況を改善していくことにしています。

答え

放射線をどのくらいの量を受けると人体にどのような影響があるのかを表しているのが、Sv(シーベルト)という単位です。「1Sv=1000 mSv」で、ミリより小さい単位は「μ(マイクロ)」といって、「1mSv=1000μSv」です。また、1年間にあびる放射線量の合計のことなのか、1時間毎の線量率なのかもチェックする必要があります。



(平成25年7月作成)

### 緊急時被ばく状況

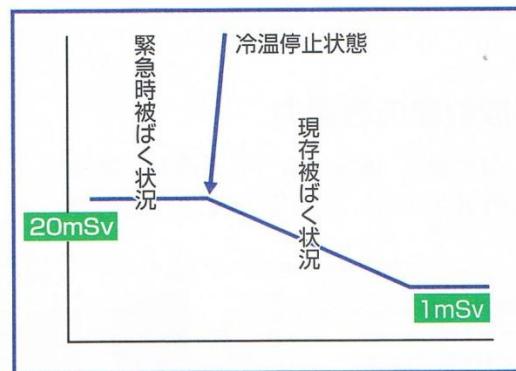
東京電力福島第一原子力発電所の事故後、緊急時被ばく状況の中、国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告(参考レベル20~100mSv)も踏まえて、年間の追加被ばく線量20mSvを一つの基準に、避難等の措置が取られてきました。

緊急時被ばく状況: 原子力事故又は放射線緊急事態の状況下において、望ましくない影響を回避もしくは低減するために緊急活動を必要とする状況。

### 現存被ばく状況

平成23年12月16日原子炉の冷温停止状態への移行に伴い、除染や食品管理により、段階的に、平常時の公衆の被ばくの限度である、追加被ばく線量年間1mSv以下を目指すこととしています。

現存被ばく状況: 緊急事態後の復興期の長期被ばくを含む、管理に関する決定をくさなければならぬ時に、既に存在している被ばく状況



### 単位換算例

$$1\text{Sv} = 1000\text{mSv} = 1000000\mu\text{Sv}$$

$$0.001\text{Sv} = 1\text{mSv} = 1000\mu\text{Sv}$$

$$0.000001\text{Sv} = 0.001\text{mSv} = 1\mu\text{Sv}$$

### ALARA(アララ)の原則

国際放射線防護委員会(ICRP)が1977年に示した放射線防護に関する基本的な考え方で、「すべての被ばくは、社会的、経済的要因を考慮に入れながら、合理的に、達成可能な限り、低く抑えるべき」とされています。

[ALARA: As Low As Reasonably Achievable]

### 半減期

放射性物質は、放射線を出しながら徐々にその量が減っていきます。この量は、一定の時間がたつと半分になり、この半分に減るのにかかる時間を「半減期(物理学的半減期)」と言い、物質ごとに異なっています。

放射性物質	半減期(物理学的半減期)
セシウム137	30年
セシウム134	2.1年
ヨウ素131	8日
カリウム40	13億年

### 参考 生物学的半減期

体内に取り込まれた放射性物質が体外に排泄され、その量が半分になる時間を「生物学的半減期」と言います。物理学的半減期が30年と長いセシウム137は、体内からはもっと早くその量が減っていきます。

年齢	セシウム137の生物学的半減期
~1歳	9日
~9歳	38日
~30歳	70日
~50歳	90日

(平成25年7月作成)

# 用語・参考資料②

## 放射線

原子を電離(イオン化)する性質などをもつ高速の粒子(粒子線)や電磁波。

アルファ( $\alpha$ )線、ベータ( $\beta$ )線、ガンマ( $\gamma$ )線、中性子線、エックス(X)線などの種類がある。

## 放射能

放射線を出す能力。

## 放射性物質

放射線を出す(放射能を持つ)物質。

## ベクレル(Bq)

放射能の強さを表す単位で、単位時間(1秒間)内に原子核が崩壊(自発的に $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、 $\gamma$ 線などの放射線を放出)する数を表す。

単位Bq/kgは、放射性物質が物質1kgの中にどの位含まれているかを表す。

## グレイ(Gy)

放射線により物質に吸収されるエネルギー量(吸収線量)を表す単位。

1Gyは、1kg当たり1J(ジュール)のエネルギーの吸収があった時の線量を表す。

## シーベルト(Sv) [実効線量]

放射線によって人体が受ける影響の大きさを表す単位。数値が同じなら、どんな核種でも、どんな被ばくの場合でも人体への影響は同じ。

## アルファ( $\alpha$ )線

$\alpha$ 線は、ウラン238やラジウム226、プルトニウム239などの放射性物質から放出される。(ヘリウム原子核と同じ陽子2個、中性子2個からなる、プラス電荷の粒子)

透過力(物を通過する能力)は非常に小さいが、人体へ影響は、 $\beta$ 線や $\gamma$ 線より大きい。

## ベータ( $\beta$ )線

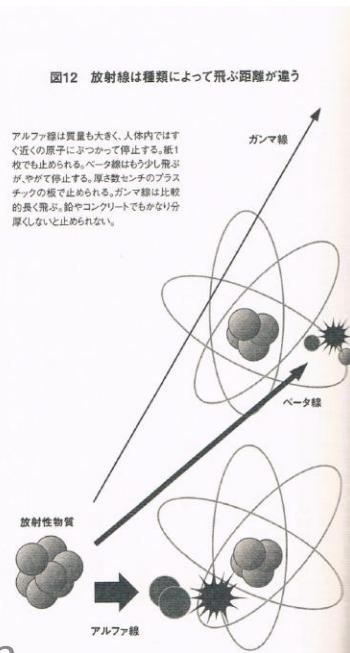
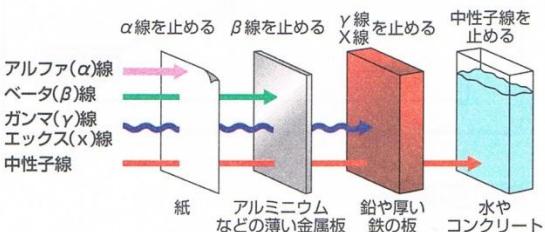
$\beta$ 線は、放射性物質から放出される高速の電子。トリチウムや炭素14、ストロンチウム90など、 $\beta$ 線のみを放出する核種もあるが、多くは、 $\beta$ 線と同時に $\gamma$ 線を出す。 $\beta$ 線は $\gamma$ 線ほどの透過力はない。

## ガンマ( $\gamma$ )線

$\gamma$ 線は、 $\alpha$ 線や $\beta$ 線を放出した原子核が不安定な状態から安定な状態へ移行する際に放出されるエネルギー(電磁波)で、強い透過力を持つ。

## 放射線の透過力

放射線は、種類によって透過力が異なり、この性質を利用して適切に遮ることが可能。



## 外部被ばく実効線量推計結果のお知らせ

福島県県民健康管理調査「基本調査」による外部被ばく実効線量の推計結果をお知らせします。

あなたが3月11日から7月11日までに受けたと推定される外部被ばく実効線量は、

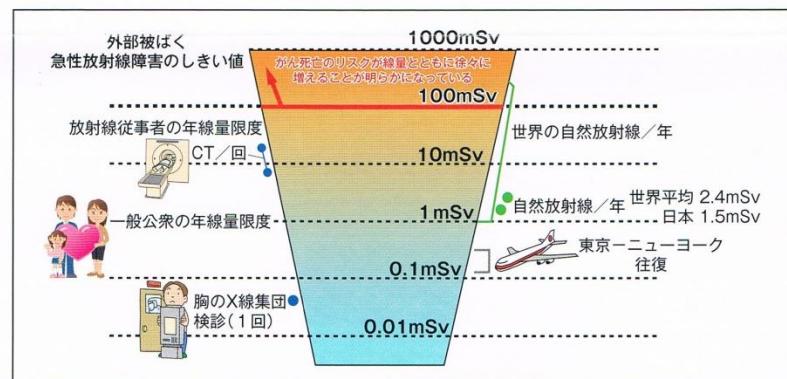
およそ1.6ミリシーベルトです。

### 推計方法

提出された問診票の行動記録(場所、時間、屋内外等)の情報をもとに、放射線医学総合研究所による外部被ばく線量評価システムを使用して、放射線を体外から受けた被ばく線量を推計しています。

行動記録の情報化に際し、電話等で確認できた範囲での修正や必要により可能な範囲内での補記を行っている場合があります。

### 放射線量の目安(参考)



このお知らせは、別にお送りする「県民健康管理ファイル」に記録・保存していただくこととなりますので、大切に保管されるようお願いいたします。

お問い合わせ先 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
電話番号 024-549-5130(9:00~17:00 土日祝日を除く)

名称	記号	半減期	放射線の種類
炭素-11	11C	20分	ガンマ線
酸素-15	15O	2分	ガンマ線
リン-32	32P	14日	ベータ線
カリウム-40	40K	13億年	ベータ線、ガンマ線
鉄-59	59Fe	45日	ベータ線、ガンマ線
コバルト-60	60Co	5.3年	ベータ線、ガンマ線
ストロンチウム-90	90Sr	29年	ベータ線
ヨウ素-131	131I	8日	ベータ線、ガンマ線
セシウム-137	137Cs	30年	ベータ線、ガンマ線
ラジウム-226	226Ra	1600年	アルファ線
ウラン-235	235U	7億年	アルファ線、ガンマ線
ウラン-238	238U	45億年	アルファ線
プルトニウム-239	239Pu	2万4千年	アルファ線

# 福島をふるさとにもつ私が皆さんに目を向けてほしいこと

『福島は元気であること。ふるさとを支える気持ちにあふれていること』

〔福島に実際に来られた方が寄せてくださる言葉から〕

- ・実際に来て見て、福島が普通であることが分かった（全国会議で来られた方）
- ・農家の方が放射性物質を抑制するために凄まじい努力をしているか分かった（TVで放送）
- ・一所懸命やっている姿をなぜもっと表に出そうとしないのか。控えめすぎる（福島出身者）
- ・人が温かい。住んでみて自分のふるさとになった（応援で来られた警察官）
- ・日新館や鶴ヶ城を見学して、会津の皆さんのまっすぐな会津魂を感じた（綾瀬はるかさん）



『放射能に対して個人個人がどのような判断をしても互いに尊重すべき』

「これまでだったら安全だ」という基準が設定されない限り、放射能に対して、「ゼロ以外にはありえない」と思う人、「1ミリ以内でなければいけない」と思う人、「20ミリまでなら構わない」と思う人、「100ミリまでなら構わない」と思う人、それぞれの考え方や判断はお互いに尊重しなければならない。

⇒ そのためにも、放射能に関する知識を深める必要があります。



『福島県民の心の分断があるのは事実』…悲しいが解決が難しいのも事実

2年半が経ち、県内であっても、原発避難者と受入側に心の溝が出来てしまうケースがある  
「避難者」…帰りたくても帰れない。先が見えないから働くこともできない。家に自由に帰れないから、家の中がネズミに荒らされたり腐ったりで、将来を絶望している。  
「受入側」…働きもせずに、賠償金で暮らしている。医療費も無料。自分たちが払った税金で暮らしているのはおかしい。

- 福島はいろんな難しいことを抱えながらも、前に向かって進んでいます。
- 企業の多くは、操業を再開していますし、新しい工場も出来ています。
- 観光も、例えば皆さんが明日訪れる会津若松は、去年は震災前と同じくらいの観光客に訪れていただきました。
- 我々、自治体も、国と一緒にあって、可能な限り安全・安心な福島県づくりに向けて頑張っていますし、頑張り続けなきゃなりません。
- 原発に頼らないことを宣言し、  
30年後には風力や太陽光などの自然エネルギーで自分たちが必要とする分はまかなうことを約束し、いろんな取組を進めています。
- そんな福島の姿を、多くの人に見ていただきたい。そして、感じて、食べ物を食べて…、福島を普通に楽しんでいただきたい。
- でも、これから40年以上にわたって、福島県には事故を起こした原発が存在し続けるでしょう。
- 今は、汚染水の問題やオリンピック招致の関係でクローズアップされていますが、落ち着けば忘れられてしまうかもしれない。
- これは、福島の問題ではない、日本の、或いは、人類共通の課題だと思います。
- 是非、皆さんには、風評や風化といった言葉に惑わされず、  
今回の学習の中で感じたこと、良いことも悪いことも、押し隠すことなく周りの方に伝えてください。
- そして、その時には必ず自分のふるさとのこともしっかり感じて、イメージしてください。
- 自分のふるさとをイメージしながらお話しされた皆さんの言葉こそが、本物であって、未来につながっていくものです。
- それが、ふるさと福島に誇りを持つ、私のささやかな願いです。

最後の質問です。

- ①福島県をもっと知りたいと思った？
- ②試しに、福島県に住んでもいいかなと思った？
- ③やっぱり自分のふるさとが一番だと思った？

		4月	5月	6月	(7月)	
復興の総括的な動き	新生ふくしま復興推進本部会議（随時柔軟に開催） ★第3回会議(4/8) ★第4回会議(4/22) 第5回会議(5/28)★ 第6回会議(6/10)★ ★第7回会議(6/14・復興公営住宅整備計画) ふるさと帰還の環境づくり（復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組） 情報発信戦略会議					
	★浪江町区域再編(4/1) ★県選出国會議員説明(4/16) 母子避難者等の高速道路無料化措置(4/26)★		★秋篠宮同妃両殿下ご来県(5/9,10) ★改正特措法施行(5/10) ★双葉町区域再編(5/28) ★原子力損害賠償紛争審査会現地調査(5/12)		★復興・再生に関する要望 (6/12東京) ★双葉町いわき事務所開所(6/17) ★原子力損害賠償紛争審査会現地調査(6/12) ★原子力損害賠償紛争審査会 (6/22)	
生活を取り巻く環境の姿	各種のモニタリング調査（空間線量、土壌、農林水産物等）、除染の推進、廃棄物の処理促進 県民健康管理調査（甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等） 放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実					
	放射線を正しく知るための市民講座(5/18)★ 食の安全・安心アカデミー(5/23)★ ★IAEA緊急時対応能力研修センターオープン(5/27福島)					
元氣な産業の姿	農林水産・県産品関係の動き	★県&全農県本部市場流通向け農産物安全性PR(4/15東京) ふくしま地域農業6次化復興ファクト設立(4/30)★		ふくしまの恵み発信記者発表(5/31東京)★ 春野菜PR、TOKIOCM、県内外でのPR 夏野菜・ももPR がんばろう！応援店キャンペーン(6/1-7/5)		
		大相撲5月場所知事賞授与(5/26東京)★ 築地福ふく市(4/29)★		農林水産業特区申請(6/21)★ 築地福ふく市(5/29)★ 築地福ふく市(6/29)★		
	観光復興の動き	キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動 観光特区の検討、教育旅行誘致キャラバン(5月-2月)				
		山手線ラッピング(4/7-5/4) ★はるか植樹祭(4/20)		県立博物館2013NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」(5/17-7/3) ★ブライトリングジエットチーム(5/9-12) ★台湾チャーター便&観光物産プロモーション(5/16-20) ★台湾教育旅行受入(5/20,21)		
力強い足取りの姿	ふるさとの誇り継承の動き	★鶴ヶ城桜祭り ★小峰城桜祭り(白河)		チーム北の結成(5/27)★ ★東北六魂祭(6/1,2福島) ★ふくしまフェスティバル(6/1郡山) 全国城サミットふくしま大会 (6/27,28若松) ★		
		小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実 「ふくしまからはじめよう。」プロジェクト、サザエさんによる福島県PR				
活力創造の動き	国道114号小綱木BPトンネル開通(4/24)★ 浜崎高野会津若松線清水田BP開通(4/26)★		★(一財)ふくしま医療機器産業推進機構設立(5/1) ★国道288号三春西BP開通(5/23)		★メディアルショージャパン&ビジネスサミット2013(6/6-8横浜) ★企業立地促進計画(6/10特措法・旧警戒区域等新規立地)	



		7月	8月	9月	(10月)
復興の総括的な動き	新生ふくしま復興推進本部会議（随時柔軟に開催） ふるさと帰還の環境づくり（復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組） 情報発信戦略会議				
	★包括連携協定		★天皇皇后両陛下下行幸啓(7/22-23)		国・概算要求
生活を取り巻く環境の姿	各種のモニタリング調査（空間線量、土壌、農林水産物等）、除染の推進、廃棄物の処理促進 県民健康管理調査（甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等） 放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実				
	★福大公開シンポジウム「3.11後の科学と社会」(7/13福島) 「食の安全・安心アカデミー シンポジウム」(8/1福島)★		米の全量全袋検査(8月下旬~)		
	がんばろう！応援店キャンペーン(~7/15)   夏野菜・ももPR,TOKIOCM,県内外でのPR 秋の味覚TOKIOCM、県内外でのPR がんばろう！応援店キャンペーン(9/21~11/9)				
元気な産業の姿	農林水産・県産品関係の動き	新会津伝統美食ウィーク(7/12~21)   トップセールス・キャラバン(首都圏・関西・北海道) ★農林水産業特区認定(7/5) 「ふくしま新発売。」店頭イベント ★福島フェスmini(7/6-7東京) ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(7/24-26) ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(8/28-30) ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(9/25-27) ★福島フェスmini(7/6-7東京) ★「ふくしま新発売。」モニターツアー(7/25) ★「ふくしま新発売。」モニターツアー(7/25) ★「ふくしま新発売。」モニターツアー(7/25) 築地福ふく市(7/29東京)★ ★秋葉原ふくしま応援産直フェア(8/7-9) ★築地福ふく市(8/29東京) ★築地福ふく市(9/29東京)			
	観光復興の動き	キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動 観光特区の検討、教育旅行誘致キャラバン(5月-2月) 県立美術館「東日本大震災復興支援特別展 若冲がきてくれました」(7/27-9/23) ★八重洲交流館4周年(7/8東京) ★関西ふくしま交流フェア(8/9-10京都) ★JATA旅博(9/12-15東京) ★リトルチャーター便(7/13) ★「八重のふるさと福島県」旅行会社説明会・交流会(8/9大阪) ★リトルチャーター便(9/21) 観光有料道路恒久無料化(7/25~)★ 百貨店における物産展 札幌・京都 ★リトルチャーター便(8/23) ★リトルチャーター便(9/14) ★リトルチャーター便(9/21) ★デスティネーションキャンペーン総決起大会(8/26)			
力強い足取りの姿	ふるさとの誇り継承の動き	ふくしまっ子体験活動応援事業(7/1-8/31)  福島U17FCホームゲーム (7/13信夫丘)★  (7/28あいづ)★  (8/10信夫丘)★ ★北海道・東北ブロックラウンドゴルフ交歓会(7/4,5) ★郡山うねめまつり(8/1-3) ★ふくしま復興祭(7/21,22いわき)★ ★いわき港まつり(8/2) ★プロ野球オールスター(7/22いわき)★ ★福島わらじまつり(8/2-3) 田島祇園祭(7/22-24)★ ★女将サミット2013(7/25郡山) ★全日本小学生男子ソフトボール大会(8/3-6福島) 相馬野馬追(7/27-29)★ ★東北・関東ターゲットゴルフ愛好者交流会(7/29-8/1)★ ★釈迦堂川全国花火大会(8/23須賀川) ★尾瀬サミット(9/2-3)  (9/29信夫丘)★ ★少年の主張県大会(9/20下郷) ★全日本クラブ卓球選手権大会(9/13-16福島) ★ふるさとの祭り2013(9/14-15いわき) ★ご当地キャラこども夢フェスタ(9/21-22白河)			
	活力創造の動き	小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実、福島未来を担う高校生海外研修支援事業 「ふくしまからはじめよう。」プロジェクト、サザエさんによる福島県PR(~9月) 産業応援、農商工連携ファンド募集 ★ふくしま復興住宅フェア(8/3-4若松) ★浮体式洋上風力発電安全祈願式・実証研究開始式(7/13いわき) ★医療機器開発安全性評価C設計開始 中野須賀川線袋田BP開通予定★ (都)腰浜町町庭坂線(三河北町工区)開通予定 (都)若宮野辺線(根崎工区)開通予定			



		10月	11月	12月	(1月)	
復興の総括的な動き	新生ふくしま復興推進本部会議 (随時柔軟に開催)					
	★復興計画・総合計画進行管理		県平成26年度当初予算編成		国・政府予算	
	ふるさと帰還の環境づくり (復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組) 情報発信戦略会議					
生活を取り巻く環境の姿	各種のモニタリング調査 (空間線量、土壌、農林水産物等)、除染の推進、廃棄物の処理促進					
	県民健康管理調査 (甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等)					
	放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実					
	米の全量全袋検査					
元気な産業の姿	農林水産・県産品関係の動き	お米PR,TOKIOCM,県内外でのPR		応援店キャンペーン(9/21-11-9)	6次化創業塾	
		おいしい大賞キャラバン (道の駅やJAまつりなどでの6次化商品PR活動)				
		新会津伝統美食ウィーク (10/12-20)		トップセールス・キャラバン (首都圏・関西・沖縄)		
		★ごちそうふくしま満喫フェア(10/5-6JRA福島競馬場)		★ふくしまフードフェア2013(11/12郡山)		
		★銘柄「福島牛」産地懇談会(10/10東京)		★銘柄「福島牛」産地懇談会(11/22郡山)		
	観光復興の動き	秋葉原ふくしま応援産直フェア(10/23-25)★		★築地福ふく市(10/29)		★秋葉原ふくしま応援産直フェア(11/27-28)
		新そば祭り・収穫祭				
		キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動				
		観光特区の検討、教育旅行誘致キャラバン(5月-2月)				
		リトルキャラクター便 (10/14-18)★		七転び八起き観光キャラバン		★リトルキャラクター便(11/2)
力強い足取りの姿	ふるさとの誇り継承の動き	★二本松提灯祭り  (10/27鏡石)★  (11/10鏡石)★  (11/17信夫丘)★		ふくしまっ子体験活動応援事業(12/1-1/31)		
		★バドミントン日本リーグ2013(11/4郡山)		★リトルキャラクター便(11/22)		
		★東日本女子駅伝(11/10福島)		★リトルキャラクター便(12/6)		
		★日本デュアスロン選手権大会(11/10福島)		★リトルキャラクター便(12/21)		
		★須賀川松明あかし		★ふくしま大交流フェア(12/23東京)		
	活力創造の動き	★東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会(11/23-24若松)		★旅フェア2013(11/8-10東京)		★Visit Japan Travel Mart(11/27-29横浜)
		★全国グリーンツーリズムネットワーク福島大会(11/14-16喜多方)				
		温泉めぐりキャンペーン・モニターツアー				
		小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実、福島の未来を担う高校生海外派遣研修事業				
		「ふくしまからはじめよう。」プロジェクト				
医療機器展示会MEDICA (11/20-23ドイツNRW州)★		★ふくしま復興住宅フェア(11/23-24福島)		★福島空港カントリー着工		
浮体式洋上風力発電運転開始★		★県算数・数学コンテスト(10/27)		★科学の甲子園福島県大会(11/16福島)		
メガイノベーションふくしま (10/30-31郡山)★		郡山大越線下大越BP開通予定★		★ふくしま復興住宅フェア(12/7-9いわき)		
再生可能エネルギー産業フェア(11/6-7郡山)★		原町川俣線水境BP開通予定★		★赤柴中島線駒ヶ嶺BP開通予定		
		相馬大内線黒木BP開通予定★		★下郷会津本郷線関山BP開通予定		



		1月	2月	3月	(4月)	
復興の総括的な動き	新生ふくしま復興推進本部会議 (随時柔軟に開催)					
	県平成26年度当初予算編成					
	ふるさと帰還の環境づくり (復興公営住宅、インフラ整備、海岸の復旧・復興、働く機会の確保、避難者の心をつなぐ取組)					
	情報発信戦略会議					
生活を取り巻く環境の姿	各種のモニタリング調査 (空間線量、土壌、農林水産物等)、除染の推進、廃棄物の処理促進					
	県民健康管理調査 (甲状腺検査、ホールボディカウンター検査、健康診査等)					
	放射能に関する各種説明会の実施、小・中学校における放射線教育の充実					
	米の全量全袋検査		米の全量全袋検査 (随時 実施)			
元気な産業の姿	農林水産・県産品関係の動き	天のつぶTOKIOCM,県内外でのPR				
		6次化創業塾		★おいしい大賞発表		
		おいしい大賞キャラバン (道の駅などでの6次化商品PR活動)		★おいしい大賞発表		
	メゾン・I・オブ・ジ・E (1/24-29パリ見本市)★		★スーパーマーケットトレードショー (2/12-14東京)		★フデックスジャパン(3/4-7東京)	
	大相撲初場所知事賞授与(1/26東京)★		築地福ふく市(1/29)★		築地福ふく市(3/29)★	
	観光復興の動き	キビタン、八重たん、ふくしま八重隊、チームキビタン、HAPPY隊、うつくしまライシーホワイト、ふるまい隊等によるPR活動				
教育旅行誘致キャラバン(5月-2月)		DCポスター、パンフレットによるPR活動			H26 プレDC	
温泉めぐりキャンペーン・モニターツアー						
力強い足取りの姿	ふるさとの誇り継承の動き	県文化財センター白河館「救出された双葉郡の文化財Ⅱ」(1/18-3/23)				
		★十日市(1/10会津若松)		★3.11復興の誓い(福島)		H26日本陸上 選手権(6月)
		★全国高校総体スキー(2/4-8猪苗代)		★声楽アカガールコンテスト(3/20-23福島)		
	★白河だるま市(2/11白河)					
	★喜多方冬まつり					
	活力創造の動き	小・中・高等学校における理数教育の充実、道徳教育の充実、ふくしまの未来を担う高校生海外派遣研修事業				
「ふくしまからはじめよう。」プロジェクト						
★福島再工ネ研究開発拠点竣工(郡山)		★企業立地セミナー(東京)		★ふくしま復興住宅フェア(3/15,16郡山)		
		★国際I社見本市E-World(2/11-13ドイツNRW州)		★福島空港カントリー発電		
				★福島再工ネ研究開発拠点開所(郡山)		



H26  
プレDC

H26日本陸上  
選手権(6月)